



radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

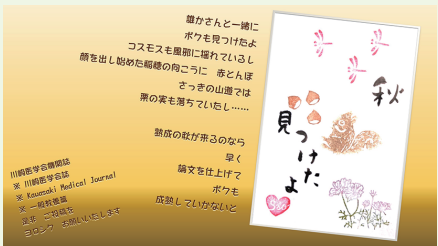
大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみにの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は 2021 年 3 月末まで在籍していました川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2020 年の 9 月と 10 月のスライドを紹介します。



アオスジアゲハが夢中で蜜を吸っています。春にも飛ぶそうですが、秋口にも…。



そして、秋が、小さい秋が、あちこちで見つかる時期になってきました。あら、赤とんぼ



風車が回っています。そして、クルセイダーズのアルバム「疾風に舞う」を思い起こします。



そして、夜が少しずつ濃さを増していく時期になってきました。もう彼岸過ぎです。



そして、10 月、稲穂も首を垂れる季節です。たわわに実ってきました。



そうだ、そして、夢をたくさん見ましょう！秋に見る夢は、実現するって???



そして、木の実もたくさん、ドングリもいっぱい見つかります。お池にドンブラコ？



そして、10 月の最後はハロウィンです。Trick or Treat? 年々、華やかになってきますが、ささやかでもいいよね。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「別れ言葉も知らないほくが」は大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

思い出を乗せて
散りゆく枯葉を
あゝ 一枚 一枚

これは あの砂浜
これは あの街角と
あなたは そんなにしてまで

ほくを…… もういいさ

別れはいつでも 涙を呼んで
小さなアルバム 海に流せば
あなたはとっくに 背中を向けて
サヨナラを 捜してた

倅せの味は
苦すぎるコーヒー

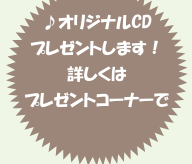
あゝ 最後のいっぱい
それじゃ もう行くわと

いつもの あのほほえみで
あなたは そんなにまでして
ほくを…… もういいさ

別れの言葉も 知らないほくが
あなたのやさしさ 忘れられたら
こんなに涙を 流しはしない
サヨナラを 見せないで

*_**

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、COVID-19 のワクチン開始、新しい生活様式の中で、少しずつ生活が彩られて行っていればと祈念しています。



プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳:京都府福知山市にて生誕
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳:倉敷市に転居
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液内科〜衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医学研究)
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る